

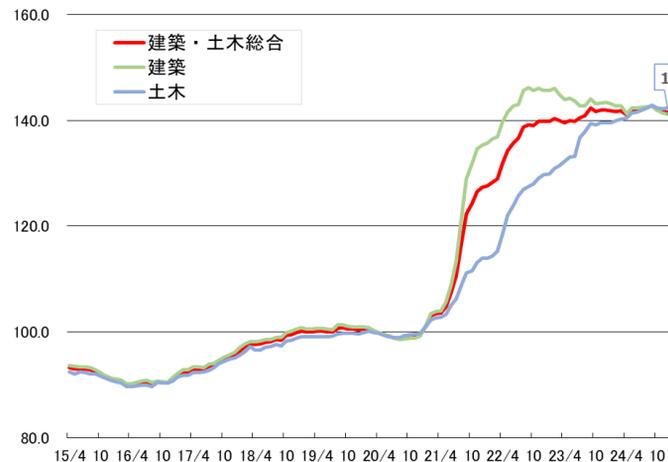
積算資料 建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移 (2024年12月調査)

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	141.6	-0.1	-0.4
建築	141.2	-0.2	-2.2
土木	142.3	+0.1	+2.7

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き (主要10都市)

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+9.7福岡、+5.1札幌、+2.2那覇、+2.0名古屋、+1.9広島、+0.1仙台●瀝青材：+0.8新潟、+0.7札幌・仙台・広島、+0.6名古屋・大阪・高松・福岡、+0.5東京、+0.4那覇●再生アスファルト混合物：+3.8那覇	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-2.0大阪、-1.8那覇、-1.3名古屋、-1.0東京・広島、-0.9新潟・高松・福岡、-0.8仙台●木材：-2.0那覇
建築	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+10.1福岡、+8.7札幌、+3.2広島、+2.3那覇、+1.8名古屋、+0.2仙台、+0.1新潟●再生アスファルト混合物：+3.8那覇	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-2.5沖縄、-2.2大阪、-1.8名古屋、-1.2東京・広島・高松・福岡、-1.1仙台・新潟●木材：-2.0那覇
土木	<ul style="list-style-type: none">●コンクリート二次製品：+9.0福岡、+2.2名古屋、+2.1那覇、+1.5札幌、+0.2広島●瀝青材：+1.6東京・名古屋・大阪・広島、+1.5仙台・新潟・高松・福岡、+1.4札幌、+1.2那覇●再生アスファルト混合物：+3.8那覇	<ul style="list-style-type: none">●普通鋼鋼材：-1.6大阪、-0.8広島、-0.6新潟・名古屋・福岡、-0.5仙台・東京・那覇、-0.3高松

指数集計対象資材の市況

12月調査に基づく建設資材価格指数は、総合指数で前月比0.1ポイント低下した141.6となった。前の月を下回るのは3カ月連続で、前年同期比でも2カ月連続のマイナスと、総合指数の下落が続いている。指数下落の主たる要因は普通鋼鋼材の市況悪化で、なかでも異形棒鋼やH形鋼といった主要鋼材は、建設工事の工期延期や規模縮小による需要低迷を背景に、東京地区で3カ月連続の下落となった。鋼材市況では、需給環境の好転材料に乏しい中、数量確保に動く販売側の価格競争が沈静化する兆しは今のところ見られない。コンクリート二次製品や再生アスファルト混合物など、じり高に推移している資材はあるものの、鋼材市況に先安観が台頭している状況下、総合指数は小幅な動きのなかで低下傾向が続く見通し。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 普及推進室 TEL.03-5777-8212